

# 15 失われた言葉

創世記一一章

「さあ、私たちは降つて行つて、そこで彼らの言語を混乱させ、互いの言語が理解できないようにしよう。」こうして主は、人々をそこから全地の面に散らされた。（7。8）

自分たちの文明を誇る人々が、天にまで届く塔を建てようとした。それは神の高さにまで登ろうとする人間の欲望を表しています。自分たちの知識や技術を誇る人間は、神など必要ないと考え、自分たちの欲望を神にして生きようとします。このとき、神が人々の言葉を乱されたため、意志疎通がとれなくなり、塔の建設を断念しなければなりません。このときに始まつた混乱は今も続き、人と人との断絶は深刻なものとなっています。この人間の世界の混乱を回復させる鍵は、神との交わりの回復にあります。自分が神になろうとすることをやめ、真の神だけを神として礼拝するときにこそ、人と人との交わりが回復されていくのです。教会は、神との交わり、そして人の交わりが回復されていく場所です。私たちの教会が、そのような交わりの回復がなされる場となりますように。